



外国出張報告書

平成 27 年 2 月 11 日

1. 出張国名 フィリピン
2. 出張月 平成 27 年 1 月
3. 出張目的 異なる光条件下での早朝開花系統の開花特性調査 : D

4. 成果の概要

本出張では、環境を制御できるファイトトロンで、光感応の分子メカニズムに関する基礎的な知見を得ることを目指した。主な成果として、光中断（明期に 10 分間の暗処理）が開花特性に影響及ぼすことを明らかにした。また、光中断の影響が 8 時半と 10 時で異なる事が明らかになり、この間に開花に関与する決定的な生理変化が起こっていると推察される。

以上に加えて、開花に関与する遺伝子を特定するために、発現解析の側面から基礎的な知見を得ることを目的として、暗処理前後の穎花から遺伝子発現解析用の RNA 抽出を行った。